

## 地方会議（京都府京都市）

### 1. 日時、場所

平成24年5月13日（日） 14時～16時  
京都リサーチパーク バズホール

### 2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 125名

### 3. 参加者の意見

#### （1）出された意見数（課題別）

全体意見数	52
資金調達	0
経営指導・経営支援	21
技術力・人材（技能承継等）	3
取引関係（下請取引・流通構造等）	1
販路開拓（海外展開等）	8
若手・青年層の活力発揮	1
女性層の活力発揮	3
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	4
その他	11

#### （2）主な意見

##### 【経営指導・経営支援】

- ・ 経営者の相談しやすいところに適切な人がいない。また、行政や支援機関がどのようなサポートをしてくれるのか等、わかりやすくPRしてほしい。
- ・ 中山間地で頑張っている個人や家族経営の小さな商店に対する支援スキームはあるのか、行政の目が向いていないと感じる。
- ・ 企業家向けの政策は、保護政策ではなく、促進政策として描くべき。
- ・ 中小企業は何をどうやっていいかわからないことが多いため、専門官を派遣するなど具体的なアドバイスが受けられるような体制を整えて欲しい。

##### 【技術力・人材（技能承継等）】

- ・ 現場で一番困っているのは技術継承。教育にはコストがかかる。中小企業1社では困難であることから、中小企業が集まって教育を受けられる場が必要。

- ・ ものづくりの重要性を認知させるために、興味が豊かな小学生の頃から、職人技を体験させるなど、学校教育が重要である。

・

#### 【取引関係（下請取引・流通構造等）】

- ・ 電力不足になると、大企業は海外へ進出するなどし、地域の雇用に影響が出る。また、末端の下請企業が契約を切られるなど、小さな企業にも影響が生じるため、配慮して欲しい。

#### 【販路開拓（海外展開等）】

- ・ グローバル化が進む中、我が国も国際化の道を進むのであれば、そのためのルール作りが必要。
- ・ ものづくり企業はいいものをつくることにこだわっているが、お客が欲しいものを作る必要がある。欲しいものを作っていないから売れないのではないか。
- ・ 京都ブランドは世界的なものであり、アドバンテージを持っている。そのブランド力を活かしてより発展していくことが重要。

#### 【女性層の活力発揮】

- ・ 30代・40代の女性が働きに出られるよう、社会通念を変える必要がある。

#### 【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・ 地域商業の活性化の面からも、小学校高学年を対象とした商店街での商売を知ってもらうような、商店街とのコミュニケーションを通じた教育活動が重要。

#### 【その他】

- ・ 中小企業の置かれている状況は大変厳しく、自立を求められていると思う。国には企業を元気づけるための仕組みを検討して欲しい。